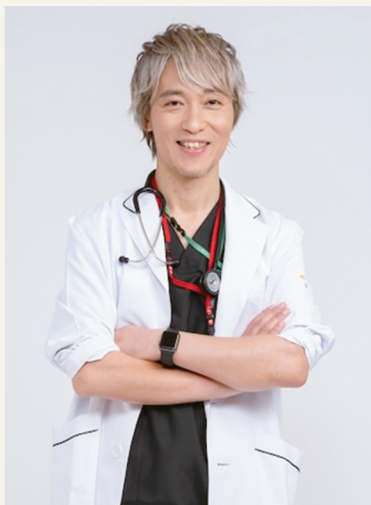


治療に立ち向かう地域の砦に 当院放射線部門の新たな一歩をご紹介します



横須賀市立総合医療センター
ふるえ治療センター長

東島 威史

FUS(集束超音波治療)

ふるえでお困りの患者さんが『当たり前の日常』を取り戻す手助けをはじめまして。脳神経外科の東島と申します。

私は脳外科の中でも「機能神経外科」という、神経機能を改善させる外科治療を専門としてきました。当院の前身である横須賀市立うわまち病院勤務となっても、大学病院などでふるえや固縮、てんかんなどの外科手術を担当して参りました。その経験を生かし、生活の質を大きく上げる「手のふるえ」を総合的に診療する新たな部署を立ち上げました。

当センターでは、複数の診療科、施設と連携をとりながら、全てのふるえ治療を行える窓口としての機能と、集束超音波治療という最新のモダリティによる治療が可能になるセンターという特色を持っています。

最高の治療を目指して尽力して参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

FUS(集束超音波治療)とは

集束超音波治療（FUS：Focused Ultrasound Surgery）は、超音波を脳の一点に虫眼鏡のように集中させて変性させる治療です。MRIガイド下で行うことにより、正確な可視化、位置確認、リアルタイムな治療制御を行うことが可能です。

最大の特長は

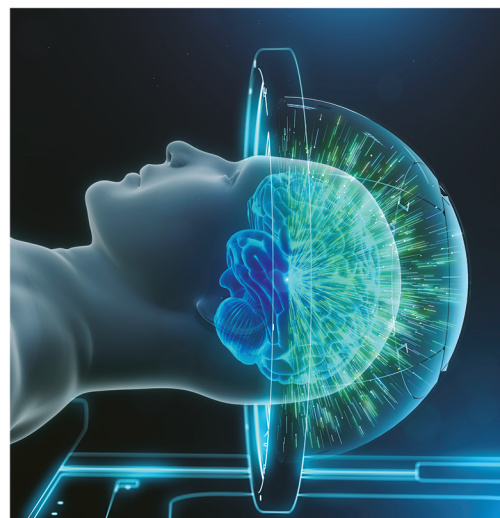
切らない

被ばくの
心配がない

入院期間
が短い

ご高齢でも
対応可能

であり、手術でありながらも低侵襲で患者さんに優しい治療です。



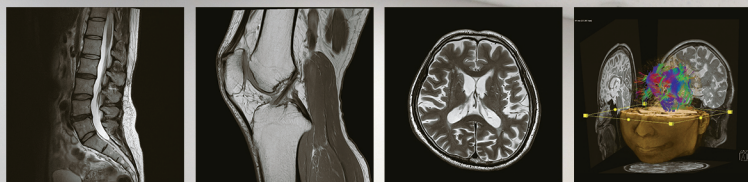
適応疾患（保険適用）

2025年3月時点での保険適用は、パーキンソン病と本態性振戦です。

生涯1回のみでの保険適用で、両側の照射や再発時の再照射も行えないため、原則、利き手の治療を行います。

年齢制限はなく、ご高齢であってもふるえで困っていて、治療の希望があれば対象となります。

ただし頭蓋骨が超音波を通しにくい形状の患者さんは適応外となります。その場合は従来の深部刺激療法（DBS）などが必要となります。



装置の特長

開口部が広い
(70cmのワイドボア)

高精細な画質

AIを用いた画像処理

高速撮像

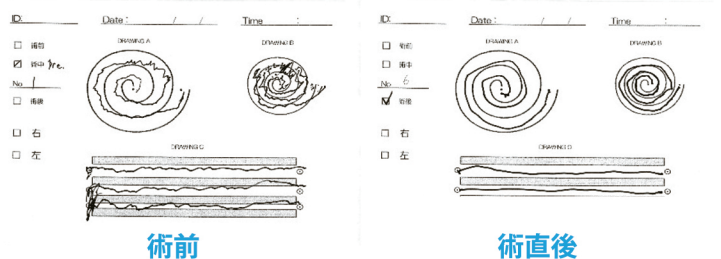
SIEMENS社製 3T MRIを用いてFUSを行う国内初の施設

当院は、SIEMENS社製 3T MAGNETOM Lumina を用いてFUSを行う国内初の施設です。
このMRI装置のガイド下でFUSを行うことでよりよい治療を提供いたします。



FUS本格稼働開始

4月10日、当院で初めての集束超音波治療を行いました。
手のふるえが止まり「食べ物をこぼすことがなくなったので、ご飯を食べるのがすごく楽し became!」とおっしゃる患者さんと共に喜びを分かち合うことが出来ました。



術前

術直後

ふるえ治療センターへご相談ください

毎週金曜日午後、ふるえ治療センターの外来診療を行っています。
当院のふるえ治療センターは、脳神経外科医師、脳神経内科医師、横浜市立大学附属市民総合医療センター医師（非常勤）が連携して診療を行っています。

FUSの適応にならない患者さんでも、大学病院に紹介し手術を行うことが可能です。患者さんにとって最適な治療をご提案致します。
また、FUSは診療放射線技師、看護師も携わり、多職種が協力して取り組んでいます。ふるえでお困りの患者さんがいらっしゃいましたら、ふるえ治療センター（外来B受付）へご相談ください。

横須賀市立総合医療センター
代表番号 0570-032630 FAX 046-884-1305



ふるえ治療センターHPはこちら